

なにかまの



NO.556 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙
2022年11月7日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
Tel.018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

労働組合の元気の源は要求

皆さん、本日はご苦勞様です。コロナ禍なので、代議員の数が少ないのが寂しいかぎりです。新型コロナウイルスは今なお世界各地で猛威を振るいワクチン接種も進んでいますが、感染拡大を抑えることが出来ていません。岸田政権は、医療・介護・保育分野のケア労働者の賃上げ補助について21年度末に補正予算化し、一部、新自由主義的政策を見直す姿勢を取りました。しかし実際には医療・公衆衛生体制の強化に踏み込まず、なおかつ物価高騰や円安であえぐ中小零細企業支援対策や生活困窮者・失業者への直接的な救済支援はほぼ行わず、新しい資本主義と言う名で財界・大企業支援を続けようとしており、本質は変わっていません。



秋田県では、若者層のワクチン接種は進まず、感染が拡大しています。そうした中、感染者の療養体制の整備、社会復帰支援の強化、医療・介護などの労働者支援の強化、自営業などの業者支援の徹底などの課題が山積しています。

秋田県の地域最低賃金は853円で全国最下位です。東京よりも219円も低く、地域格差はなかなか縮まりません。来年の春闘では、物価高騰が生活に大打撃を与えている現在、私たちは物価上昇分をしっかりと賃金に反映させていく意気込みで、大幅賃金上げを求めます。

コロナ禍で労働組合活動が停滞し、団結が弱まったという悩みがあちこちで聞かれます。こうした困難を克服するためには要求を実現するために、みんなでたたかうという労働組合の原点に立ち返る必要があります。

労働組合の元気の源は要求です。労働者は要求がはっきりすれば元気になるし、ひとりの要求からみんなの要求へとひろがれば団結が生まれます。春闘はその絶好のチャンスです。

仲間みんなで頑張ろう。



県本部定期大会を開く

10月30日、建交労秋田県本部第24回定期大会を秋田市のサンライフ秋田で開催しました。大会には、代議員・役員ら18人が出席しました。コロナ禍のなか、3年続けて規模と時間を縮めて開催しました。高橋委員長のあいさつ、メッセージ紹介（中央本部、県労連）の後、議案提案、討論に入りました。

大会では、6人が発言しました。執行部の提案した総括と決算報告、運動方針案と予算案は満場一致で採択されました。また役員選挙では、執行委員長に高橋正彦さんらを再任しました。大会は、要求実現・組織建設の前進にむけて奮闘しようという大会宣言を採択して閉会しました。

以下は、出された意見です。（短く編集、敬称略）

- セメントなどの荷物の価格が上がっているのに、運賃が上がらない。昨日、秋田運送支部の大会を行った。そのため残業などさせずに早く出勤できるよう要求していたが、本社と事業所の関係がうまく機能していないせいか、混乱した。退職者が相次いでいる。（秋田運送支部・鈴木）
- 平均年齢58歳。会社は若返りをすすめたい意向だが、入っても長続きしない。賃金を上げていかないとダメだ。最賃の引き上げとともに、基本給が月額5,500円引き上がった。（末広運輸分会・佐藤）
- 各地で林立する風力発電の風車は風がないと止まる。低周波による健康被害があるのに、被害者はいない前提で建設工事が進められている。マスクも取り上げようとしない。風力発電は、火力や原子力に替わるバラ色の発電ではないことを知ってほしい。（個人加盟・根本）
- 東北全体で6名がじん肺根絶の第7陣裁判に加わった。基金制度を求める国会議員要請にとりくみ、秋田県の7名の国会議員のうち3名から賛同署名をいただいた。（農林支部・佐藤）
- 賃上げは月額3,000円～3,700円。一時金も夏・冬とも、それぞれ5,000円の引き上げをかちとった。（本荘清掃分会・小松）
- 10月22日に東北ダンプ支部を結成した。従来以上に使用促進（経済）闘争にとりくみ、東北の仲間が丸となって要求実現でさらに前進し、組織拡大でも奮闘したい。（秋田ダンプ分会・高橋）

秋田県本部の2022年度の役員

執行委員長	高橋正彦（ダンプ分会）	再任
副執行委員長	佐藤博之（農林支部）	再任
書記長	田中喜三男（ダンプ分会）	再任
書記次長	鈴木 諭（秋田運送支部）	再任
執行委員	小松一利（本荘清掃分会）	再任
執行委員	佐藤正博（秋田運送支部）	再任
執行委員	工藤有己（個人加盟）	再任
会計監査	佐藤一義（ダンプ分会）	再任
会計監査	和田広樹（秋田運送支部）	再任

※敬称略

東北ダンプ支部結成 秋田ダンプ支部は、10月16日に臨時大会を開き、東北6県でつくる広域支部・建交労東北ダンプ支部に組織として参加することを確認しました。10月22日に福島市で、代議員44人と傍聴者7人が参加して、建交労東北ダンプ支部を結成しました。今までの秋田ダンプ支部は、秋田ダンプ分会と名前がかわります。秋田ダンプ分会の事務所は、従来と同じ場所です。

八面六臂（はちめんろくぴ）
歳を取ると日のたつのが早い
と言われますが、今年も、もう
十一月に入りました。若くても
年を取っても同じく時間は過ぎ
るのですがその人のおかれた状
況や考え方、毎日の過ごし方に
よって感じ方も変わって来るの
ではないでしょうか。私の場
合、早いと思っています。▼話
は変わりますが、我が家には猫
が1匹おります。3年位前に車
庫の2階で見つけました。母猫
が帰って来なくなり、お腹を空
かした子猫4匹が、耐え切れず
騒いでいたので見つける事が出
来たようです。段ボールに入れ
たのですが、母猫が来ることはあ
りませんでした。▼近所のばあ
さん達に話を聞いたのですが、
「お腹の大きな猫が子猫を生ん
だらしくお腹が小さくなってい
た」、「その猫がバイパスで車に
ひかれていた」そうです。▼4
匹の子猫のうち1匹、一番小さ
かったのは3日目の朝には亡く
なってしまうました。チビと呼
んでました。残りはクロ、ミ
ケ、トラと見た目で名前をつけ
て里親を探しました。クロは横
手に、ミケは隣の町内の方に引
き取ってもらいました。そし
て、売れ残りのトラが我が家で
元気に暮らしています。



なくせ じん肺・アスベスト…じん肺キャラバン

じん肺キャラバン秋田県行動は10月3日から始まりました。10月3日～5日は、秋田県労連事務所の一室を借りて岩手農林支部、宮城農林支部との共催で「じん肺・アスベスト被害全国一斉電話相談会」を行いました。初日は相談会の開始時間前から電話が鳴るなど、想定を上回る事態でした。

3日間での相談件数は12件。電話だけでは解決しない案件が多く、今後面談等を行い救済の道を探ることにしました。

7日は建交労、県労連から5名の参加で、県議会・県知事要請、JR秋田駅前での宣伝行動を行いました。県議会要請では、杉本県議会副議長に対応していただき、これまでの到達点、これからの課題を訴えたところ、自身が県庁職員時代に石綿対策を担当していたことから大いに共感してもらうことが出来ました。

県知事要請では要請書を渡し趣旨説明を行いました。昨年と同様に新型コロナウイルスの感染予防のため回答は後日書面でもらうことになりました。JR秋田駅前での宣伝行動では、「じん肺と全ての労災職業病の根絶」を訴え、約30分間で250部のチラシとティッシュペーパーを配布しました。

17日は3団体（建交労、県労連、弁護士）から5名の参加で労働局要請を行いました。要請項目のほとんどが規則、制度に係わるものであり「本省へ伝える」の回答でした。懇談の中で、「本年4月から建築物や工作物等の解体・改修工事を行う際の石綿有無の事前調査が義務付けられた事により、届出が多くなるだろう」と話がありましたが、労働基準監督署の人員不足が懸念されます。

また、石綿管理手帳の申請手続きに関する広報活動について「労働局のホームページへの掲載、企業説明会の実施」と昨年と同様の回答がありました。さらに「秋田労働局のFMラジオ番組でも告知している」と回答があり、若干の前進は認められました。

また、トンネルじん肺根絶闘争本部は「トンネルじん肺基金」創設のため、国会議員から新たな賛同署名を求めることにしました。まずは国会議員の地元事務所を訪問し、10月13・14・17日の3日間で秋田県選出の議員7名全てを訪問し、新署名への賛同を訴えてきました。



子ども達が小学生の頃は、運動会と言えば一日中かきお弁当を持って応援に行ったものですが、ある時から午前で終わりになりました。お弁当を作るお母さんは楽になったかも知れませんが、外で皆がお隣さんとおかずを交換しながら、過ごす楽しい時間もありません。今ではコロナという事もあり、家族以外の応援もできなくなり寂しい限りです。

秋田ダンブ分会
ゆきちゃん 57歳

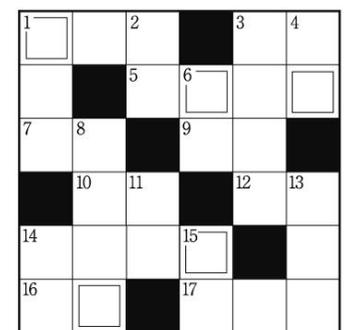
仲間の声
ようやく4回目のコロナワクチンの接種券が届きました。3回目までは成分が異なるオミクロン株に対応したワクチンなのですが、政府も地方行政も感染者数に囚われることなく、コロナ前の日常を取り戻すべくイベントや各業種の支援サービスに躍起で、色んな制限は緩和の一方で3回目までは何の躊躇もなく接種を受けましたが、4回目は未だ思案中です。

秋田ダンブ分会 佐藤正樹 60歳

由利本荘市・個人加盟
笹 耕市 75歳

矜持「自分をすべれた者として他に誇ること。誇り」と辞書にある。私にも一片の矜持はある。河野大臣が健康保険証を24年秋までに廃止し、マイナンバーカードと保険証を一体化すると発表した。マイナンバーカード普及をこり押しする作戦だ。ところで私はマイナンバーカード受取と登録を拒否している。現政権が信用ならないからである。個人情報報を一手に握り悪用する恐れもある。漏えいも必ずある。データの改ざんを平気でやり、知られたくない政府の情報は隠し間に葬る。そんな政府に私は自分をゆだねない。登録したら2万円(ポイント)だと……喉から手が出るほど欲しい2万円だが、負けてなるものか。私だって矜持というものがある。一寸の虫にも五分の魂。10万円出すと言われても拒否する。なら100万円なら……いやだ。1000万円なら……ん……正直迷う。と、ともかく1000万円提示してみろ。考えてやる。しよせん私の「矜持」とは、この程度なのである。

クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。
【タテのカギ】①ののしる声 ②——を聞いて十を知る ③球を受け損ない後ろに逃す失策 ④——のせいと諦めるな ⑥体操種目の——運動 ⑧——二十面相 ⑩文明の発展に——する ⑬裕福。——な気分 ⑭♪静かな静かな——の秋 ⑮彼とは——が合う

【ヨコのカギ】①馬の体 ③古い都 ⑤悪天候で行事は—— ⑦以上の対 ⑨問題の答え。方程式の—— ⑩——はよいよい帰りは怖い ⑫釣銭の略 ⑭——の楼閣 ⑯1——=1kg ⑰——ポンプ

【前回の答え】 運動会 (ウンドウカイ)
応募者3名、正解者3名でした。

ダンブ分会のゆきちゃん(57歳)に1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!

応募のしめ切り⇒11月25日の消印まで有効。発表は次号で。
ヒント→〇〇〇ユ〇…いまの季節

余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。
仲間の皆さん、ふるって応募を!

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax.018-823-7751
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係



千秋公園のお堀